



## 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型) 決算・分配金のお知らせ

平素より、「三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは2016年12月19日に第170期の決算を迎え、基準価額の水準や市況動向に加え、配当等収益や分配原資の状況等を総合的に勘案して、当期の分配金を前期の30円(1万口当たり、税引前)から、20円(1万口当たり、税引前)に引き下げましたことをご報告申し上げます。分配金の水準を下げて信託財産の成長を図ることが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考えたものです。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 分配金と基準価額(2016年12月19日)

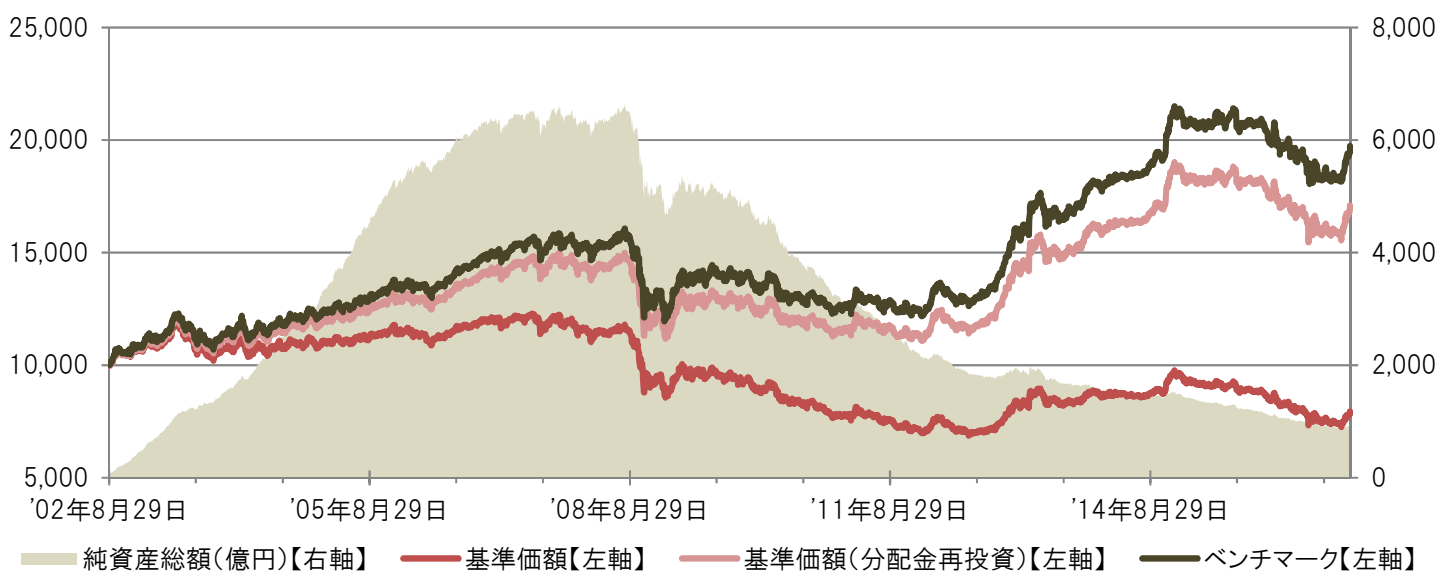
<b>分配金</b> (1万口当たり、税引前)	<b>20円</b>
<b>基準価額</b> (1万口当たり、分配落ち後)	<b>7,886円</b>

#### 【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

決算期	第165期 (2016年7月)	第166期 (2016年8月)	第167期 (2016年9月)	第168期 (2016年10月)	第169期 (2016年11月)	第170期 (2016年12月)	設定来合計
分配金	30円	30円	30円	30円	30円	20円	7,150円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

### 基準価額の推移(期間: 2002年8月29日(設定日)~2016年12月19日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・ベンチマークはシティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

■ 上記は、過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

## 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

## 2016年初来の投資環境

## ● 債券市場

2016年は7月中旬にかけて、世界的な景気減速懸念に加え、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げに対する見通しが後退したことから、先進国国債の利回りは低下(債券価格は上昇)しました。その後は資源価格の上昇や、米・次期政権の政策先読み等から先進国国債の利回りは上昇(債券価格は下落)しました。

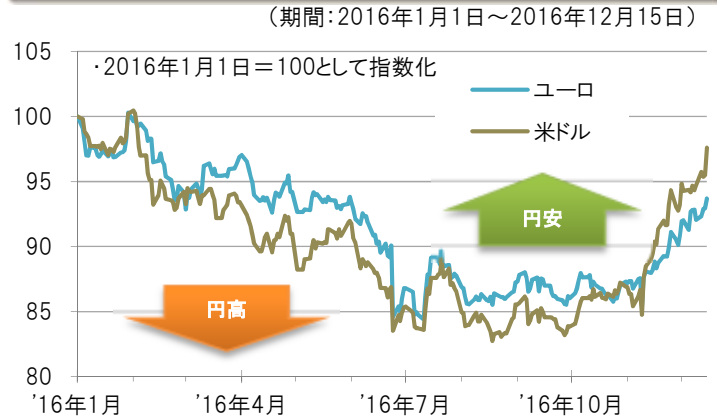
## ● 為替市場(対円)

米ドル、ユーロとも7月中旬までは、世界的な景気減速懸念やECB(欧州中央銀行)による金融緩和策の継続あるいは英国の国民投票の結果をめぐる混乱等から下落しました。その後は、資源価格の上昇や米・次期政権の政策期待等からリスク選好の動きから米ドルが対円で上昇し、ユーロも対円で上昇しました。

## 年初来の先進国国債指数(現地通貨ベース)の推移



## 年初来の為替の推移(対円)



## 今後の見通し・運用方針

## ● 債券市場

**米国:** 米国では、雇用の堅調さ等から金利は上昇傾向です。しかし、足下の急速な金利上昇や、資源価格の回復によるインフレ率の押し上げは一過性である可能性が高く、調整の可能性も否めません。また、米ドル高が米国経済の重石になる可能性もあり長期金利は横ばい圏での推移になると想定されます。**欧州:** 米・次期政権が財政拡張的な政策を実施した場合の世界的な長期金利上昇が想定される一方、イタリア等欧州での政治的な不透明感やECBの資産購入の期限が延長されたこと等を踏まえると、ドイツの長期金利は横ばいと予想しています。

## ● 為替市場(対円)

**米ドル:** 日米の金利差から更なる円安米ドル高局面はあり得るものの、資源価格回復の持続性や米・次期政権の政策の実現性に対する不透明感から、レンジ内での推移になるとみています。**ユーロ:** ユーロ圏と英国が金融緩和を継続するなか、日銀の新たな金融政策の仕組みの発表により、日本の金融緩和も持続すると見込まれるため、ユーロは横ばいを予想します。

## ● 今後の運用方針

引き続き、日本を除く世界主要国の国債等を主要投資対象とし、当ファンドのベンチマークであるシティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きを概ね捉えつつ、毎月分配を行うことをめざします。

## 過去10年間の先進国国債指数(円ベース)利回りの推移



## 【本資料で使用している指数について】

先進国国債指数(シティ世界国債インデックス(除く日本))  
シティ世界国債インデックス(除く日本)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(出所)Bloombergのデータより三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替、税金・手数料・取引コスト等を考慮していません。■ 上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。  
■ 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

## 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

## 投資信託から分配金が支払われるイメージ

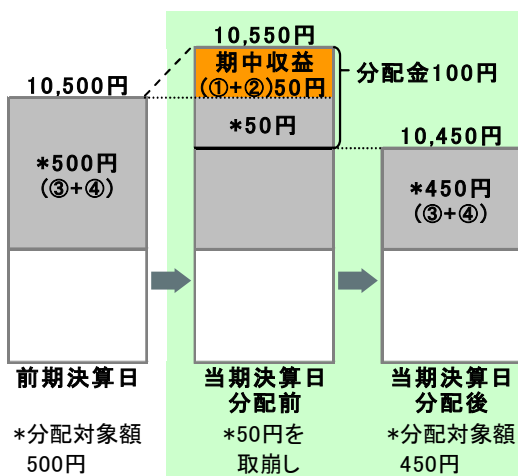


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

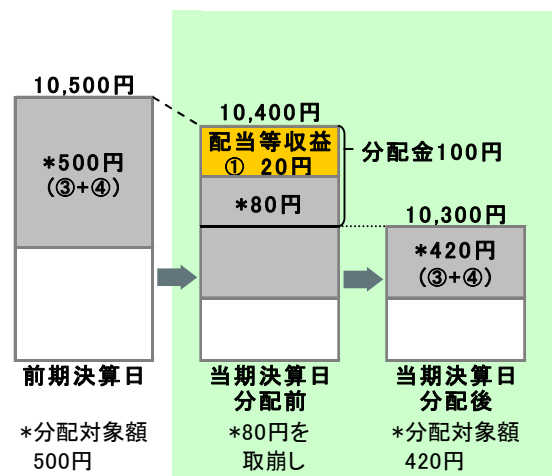
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

## 前期決算日から基準価額が上昇した場合



## 前期決算日から基準価額が下落した場合



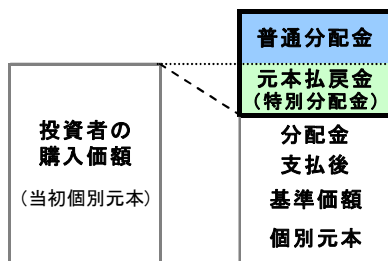
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金： 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金： 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

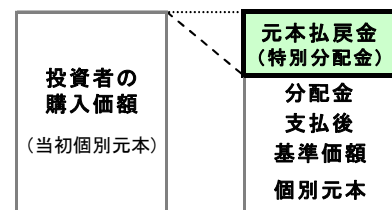
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

## 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金： 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)： 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

## 購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

## [金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

## [口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、  
購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、  
100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

## 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

## ファンドの目的・特色

## ■ファンドの目的

日本を除く世界主要国の国債等(投資適格債)を主要投資対象とし、日本を除く世界主要国の国債の指標であるシティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きを概ね捉えつつ、毎月分配を行うことをめざします。

## ■ファンドの特色

## 特色1 日本を除く世界主要国の国債等(投資適格債)を主要投資対象とします。

シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)<sup>※1</sup>をベンチマーク<sup>※2</sup>とし、当該指数の動きを概ね捉えることをめざして運用を行います。

※1 シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。当該指数は、以下の22カ国で構成されています(2016年7月末現在)。ただし、構成国は変わる可能性があります。

※2 ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。

## 特色2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。ただし、市況動向<sup>※3</sup>の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。

※3 市況動向とは、天災地変・テロ・戦争等による市場の急変時等を想定しています。

## 特色3 毎月の分配をめざします。

・毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、利子・配当収益を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案したうえで分配を行います。

・分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

## ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**価格変動リスク** 一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

**為替変動リスク** 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

**信用リスク** 組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク** 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

## ■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



## 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

## 手続・手数料等

## ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までには販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2002年8月29日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■ファンドの費用

## お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 <b>上限1.62%(税抜 1.5%)</b> (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> をかけた額

## お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.08%(税抜 年率1%)</b> をかけた額
その他の費用・手数料	有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会:一般社団法人 投資信託協会  
一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <http://www.am.mufg.jp/>  
<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034  
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

## ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

## 販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社 青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○			
株式会社 伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社 大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
株式会社 七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社 中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社 八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
株式会社 北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
株式会社 山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			